



佐々木小

令和3年9月15日
第5号
佐々木小学校
新発田市則清 856
TEL.0254-27-2011

おもてなしの言葉「はい オアシス」

校長 齋藤 博敏

毎朝、元気に登校する子どもたちの姿を見て「ホッ」としています。これが私をはじめ、佐々木小学校すべての教職員の気もちです。

感染力の強いデルタ株によって、新型コロナウイルス感染症の感染はこれまでにない勢いで拡大し、県内にも特別警報が発令されています。学校では感染症対策をこれまで以上に徹底し、“子どもたちのため”の教育活動に取り組んでまいります。保護者・地域の皆様、今後も変わらぬ御理解と御協力をお願いいたします。

さて、東京2020オリンピック・パラリンピックが閉幕しました。賛否両論あった大会でしたが、5年間この大会のために、精神的に追い込まれながら必死に努力したアスリートからたくさんの感動をいただいたことは間違いありません。目的を達成し涙を流すアスリート、残念ながら目標を達成できず涙を流すアスリート、大きな病気を克服し参加できたこと自体に涙を流すアスリート。その涙とともに発せられた言葉一つ一つに口では言い表せない重みを感じました。と同時に、アスリートとは別に大会関係者や取材等で訪れた方々から発せられた言葉の数々にも強く心を動かされました。そのうちの一つを紹介します。イギリスのニュースキャスターであるオーラ・チェンナウイさんがSNS上でつぶやいた言葉です。

「何という文化（おもてなし）なのでしょう」

「競技場を去る際、ボランティアと大会関係者が同じフレーズを繰り返しています。彼らは全ての人に繰り返し繰り返し『大変なお仕事ありがとうございます。ゆっくり休んでください』と言っているのです。何という文化（おもてなし）なのでしょう」

“おもてなし”は東京2020オリンピック開催決定がきっかけに世界中に広まった言葉です。心のこもった待遇、お客さまに心を込めて対応すること、心配りをする、相手の心に寄り添うことを意味する言葉です。

佐々木小学校にも、すてきな“おもてなし”の言葉があります。

それは、「はい オアシス」です。

名前を呼ばれたら「はい」

「おはよう（ございます）」

「ありがとうございます」

「しつれいします（しました）」

「すみません（でした）」

右のポスターが児童玄関、教室の出入り口等に掲示されています。ポスターが作成されたのは2013年です。当校の伝統ある“おもてなし”の言葉です。

ぜひ、御家庭でも「はい オアシス」お子さんと一緒に心を込めて、繰り返し繰り返し伝え合ってください。

